



森のなかま

2017年8月号

NO. 112 (継続257号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

平成29年度 かながわ森林インストラクターの会 通常総会開催 4つの会活動方針を掲げ新役員とともに平成29年度会活動始動!!

<事務局長 福島 正治 11期>

平成29年6月25日(日)特定非営利活動法人かながわ森林インストラクターの会通常総会が総勢183名(委任状含む)の参加を得て開催されました。総会会場は「ユニコムプラザさがみはら」セミナールーム2。2部構成の運営で13:30からの定刻より開催され、1部司会進行は森本正信氏(5期)。久保重明理事長(8期)の挨拶で始まり、来賓ご挨拶を頂いた後、議長渡辺孝氏(3期)、書記湯浅鉄男氏(11期)、野村昭憲氏(14期)を選出し第1号総会議案から議事に入りました。

司会進行 森本氏

総会の様子全景

久保理事長

議長 渡辺氏



又本総会にお忙しい中ご臨席頂きました(県環境農政局 緑政部水源環境保全課)課長 羽鹿直樹様、(同)主事 中田雄一郎様、(かながわトラストみどり財団)専務理事兼事務局長 西ヶ谷孝之様には厚く御礼申し上げます。



西ヶ谷様、中田様、羽鹿様 (左より)

○今年の活動に当たり会が掲げた方針は

1. 県民参加の森林づくり活動や森林再生パートナー企業・団体の活動を積極的に支援すると共に参加者から信頼される指導者の育成を目指す。
2. 県行政およびその関連機関と更なる連携をはかり、水源環境の保全・再生に努めると共に、その啓発活動に積極的に参加する。
3. 財政基盤の確立を目指し臨時総会で決まった財政健全化施策を着実に推進する。
4. 自然環境および森林に関する知識・文化の普及啓発を行う。

○また、新役員(理事10名、監事2名)の選任が行われた。理事長には久保氏が再任された。



○第2部は林業関係広報コンクールのHP(ホームページ)部門の最優秀賞(林野庁長官賞)を受けたホームページ担当の井出恒夫氏(1期)よりホームページの変遷、紹介がおこなわれた。

(写真撮影 湯浅氏⑩、広報部 松本⑪)





森林部会 平成29年度 『 下刈り研修会 』

日時 H29年6月18日(日) 9:30~15:00 曇りのち雨

場所 南足柄市内山 県立21世紀の森の「成長の森」

< 森林部会 斉藤 夏葉 13期 > (写真&キャプション:福島孝弘⑨、斉藤夏葉⑬)

インストラクターとして下刈り作業を指導する際の基本的技術の確認と習得を目的とし、「下刈り・鎌研ぎ作業マニュアル」に沿った作業と砥石による鎌研ぎの実践を行った。鎌の使い方、刈る対象による刈り方の違い、一般参加者への分かりやすい説明と指導方法、安全への配慮などを確認した。

朝から曇りで涼しく絶好の下刈り日和。現場は平成26年度に成長の森植樹祭で植栽した杉の苗木のエリア。オリエンテーションに続いて、講義では小野講師より「マニュアル」の概要について説明。ポイントとして話があったのは、移動時の鎌の持ち方、休憩時の鎌の置き方、誤伐をしないために気をつけるべき点、人数や現場の広さにあわせて人の配置を的確にすることなど。



お互い周囲に注意しながら実習作業



班内で発表内容の打合せ

準備体操の後、現場へ移動し班に分かれて下刈りの実習を開始。斜面下から上方向に向かって全刈りをする。苗木付近は特に丁寧に刈り進め、苗木にからんだツルも取り除く。途中、休憩をとりながら各自に配布されたシャープナーで鎌を研ぐ。午前中には予定エリアを刈り終わり、昼食をはさんで午後からは現場を再度歩きながら、午前の作業の確認を行った。実習後の現場

は苗木に光が当たるようになり、苗木の更なる成長を願いながら現場を後にする。その後砥石を使って鎌研ぎを実施していると雨が降り出した。

鎌研ぎ終了後は屋内に移動して班毎の発表・意見交換・講評。ここでは本日の研修を通して気がついた点、下刈り作業における危険要素とその対処法、時間配分や作業効率についてなど、活発な意見交換が行われた。個人的には講師から言われた、「マニュアルに記載されていることはスムーズに対応できて当たり前、想定外のことにでも対処できるように」という心構えが印象的であった。インストラクターとして参加者の皆様に安全に楽しく活動していただくために、今回の研修で学んだことを確実に実行できるようにしたい。



屋内で班毎の発表・意見交換・講評

実習地全景作業前



実習地全景作業後

きれいに刈り払われ苗木が良く見えるようになった



参加者:30名(内部講師、スタッフ含む) (スタッフ:滝澤⑤、辻村⑨、福島⑨)
友谷①、国分③、小清水⑤、有坂⑧、内野⑨、水津⑨、村井⑨、松山⑩、湯浅⑪、大橋⑪、赤崎⑫、西出⑫、宇田川⑬、大原⑬、北村⑬、斉藤⑬、武井⑬、岩田⑭、小松⑭、鈴木⑭、立花⑭、牧石⑭、水野⑭、講師:小野⑦、大澤⑩、松永⑫、焼尾⑬、

自然観察部会 研修会 『クモの観察(クモを見ながら歩こう)』

7月2日(日)9:00~15:10、晴れ時々曇り 城山湖周辺(都井沢~城山湖コミュニティセンター~大戸

講師 大川秀治氏(自然観察指導員)

< 西岡 一郎 13期 >

湿気の多い暑い夏の晴れた日の研修会となりました。クモの観察には条件が良く、35種ほどのクモを観察することができました。雨だと半分ぐらいしか見ることができないそうです。

私のクモの基本イメージは、コガネグモが垂直の円い網の真ん中にあるのですが、これとは異なるいろいろなクモを見ることができました。クモの巣とは言わず網と住居と呼び、普段は網の真ん中にいないクモのほうが多いそうです。またクモの糸にも数種類あり、クモはそれを組み合わせて網を作っています。

オオシロカネグモの完成系の網と足場糸の残った張る途中のものが見られました。足場糸は、横糸(丸く張る粘りのある糸)を張るときに食べて回収します。

また、最後にバスを待つ間にいただいた毛糸を使った縦糸の張り方の実演を含め、クモの網の張り方の職人技を味わうことができました。

クサグモは、低木の上でよく目につくもので棚網とトンネル状の住居にすみ、音叉をあてると、すばやく表れてさっと消えていきました。

網を作らない徘徊性のも多く、アリによく似たアリグモや、卵のうを運ぶハリゲコモリグモ(生まれたら子グモを背中に乗せ守る)がいました。

婚姻贈呈(求愛オスがメスにえさをプレゼント)を行う徘徊性のクモであるアズマキシダグモのまどい(卵のうを出た幼体が一時的作る集団)がありました。まどいとは刺激するとクモの巣を散らすように散っていきませんが元のまどいに戻るのはクモが糸を常に出しているため、徘徊性クモも糸を出して命綱等の目的で使用しています。

オナガグモ(松葉のように細長い独特な形をしており粘球を投げてクモを食べる)のすぐ傍に卵囊がありました。

ジグモの半地中の袋状住居、とげの多いササグモ、腹部が美しい緑色のアオオニグモ、白い横帯のシロオビトリノフンダマシなど特徴のあるクモも観察できました。

秋には成体となりよく目立つジョロウグモも、幼体の今は小さくて、大きさはメスとオスで同じとのことでした。

クモのさまざまな面白い生態と、その前提となるさまざまな環境が味わえた有意義な一日でした。



網の張り方解説



講師の解説を聞く



日本で一番大きな
オオジョロウグモ



オオシロカネクモ



脱皮中



オナガグモと卵鞘



ヒラタグモの網



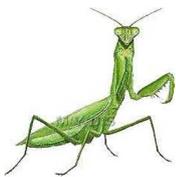
餌をラッピングするコガネグモ

参加者 20名
森本⑥、野田⑧、内野⑨、女川⑨、
村井⑨、小笠原⑩、小林⑩、鳥飼⑪、
山下⑪、赤崎⑫、小池⑫、平田⑫、
大原⑬、菌田⑬、武井⑬、長尾⑬、
松石⑬、國弘⑭、小貝⑭、西岡⑭

(写真撮影:小池氏⑫)

活動短信

今回の掲載は平成29年6/3～6/26です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



螳螂生 6/5～6/10頃
かまきりしょうず
カマキリが生れ出る
第二十五候 **芒種** 初候

乃東枯 6/21～6/25頃
なつかれくさかるる
夏枯草(靱草の事)が枯れる
第二十八候 **夏至** 初候

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) **研**:研修枠

以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 県立21世紀の森「竹林整備とタケノコ折り(真竹)」

日 6月3日(土)10:00～13:00、晴れ

場 南足柄市内山 県立21世紀の森

参 6名(大人 5名、子供 1名)

スタッフ 足柄グリーンサービス 辰巳様

イ L小沢⑨

県立21世紀の森研修室に於いて受付、担当の辰巳様
によるオリエンテーリング開始、本日の主目的は真竹林内
におけるタケノコ折り。

森林の清々しい空気を目一杯吸いながら準備体操、へ
ルメット、竹ノコギリ、剪定バサミの一式を身に付け、いざ
真竹林へ出発。

まずは竹林整備を参加者全員でスタート、8歳の子供も
竹鋸を上手に使いながら真竹を切る、次にお父さんが竹
枝の切り落としと玉切り、片付け、集積を行うと林内がスッ

キリ。参加された中にはタケノコ折りよりも竹林整備に熱中
された方もいた。

作業終了後道具の手入れを済ませ、食堂にて改めて山
の整備の大切さや、目的を説明させて頂き、快晴の中素
晴らしい森づくりを体験され、満足されて散会された。

(記 小沢 章男⑨)

◆ 横浜市立公田小学校 高取山自然観察(登山)

日 6月8日(木)10:00～15:30、曇り時々晴れ

場 愛甲郡愛川ふれあいの村～高取山(往復)

参 小学5年生2クラス 生徒47名 教師等8名

イ L高橋③、足立④、松本⑪、江上⑬

登山は、愛川ふれあい村をベースに5年生2クラス47名
を4班に分け、各班にインストラクター1名と先生が付き添う
編成で行われました。出発に先立ち、山ビルを心配した先
生が生徒の靴や周囲に食塩水を噴霧しました。高橋Lより
ヒルがついても健康に心配ないことを知らせ、登山の安全
を注意して高取山を目指しました。登山道ではスギ、ヒノ
キ、モミジ、カエデ、モミ、ホオノキ、クヌギ、コナラ、フタリ
シズカなど草木の名称や特徴を説明しながら登行しまし
た。子供たちは、キイチゴ類や切り株の年輪からの樹齢推
測、ヒノキの種子、ウメノキゴケ等の地衣類などに目が向く
ようでした。

山頂では、丹沢山
方面は雲に覆われて
いましたが、宮ヶ瀬湖
の湖面が青くきれい
でした。昼食後に下山
を始め、特に事故なく愛
川ふれあいの村に戻り



ました。私の班は山ビルに会わず、梅雨入り模様の子報で
したが、雨に降られることなくラッキーな登山でした。

(記 江上 徹⑬)

◆ 県民参加の森林づくり(下刈り) 緑の募金保全活動

日 6月10日(土)8:40～13:30、晴れ

場 南足柄市内山 県立21世紀の森の「成長の森」

参 76名(男58名、女18名)

財 古舘様、鳥海様 **看** 青木様

イ L大原⑬、国分③、永野⑥、白畑⑦、辻村⑨、
真貝⑪、松石⑬、木村⑭、立花⑭

天候良く活動日和、小田急新松田駅前バス操車場で受付を済ませ定刻8時40分にバス乗車成長の森へ、途中山北駅付近バス正面に夏の富士山が雄大に見える。

県立21世紀の森に到着しオリエンテーリング、財団鳥海様から説明戴き、大原リーダーが各インストラクターを紹介、作業内容・注意事項等を説明、気温上昇が予想されるので安全目標「体調管理・熱中症注意」を話された。

準備運動済ませて1班から順に倉庫前で道具を携行し作業場所の成長の森へ向う、班毎に再度打合せを行い下刈作業開始、炎天下の作業になり熱中症対策に適宜水分補給と休憩取る声掛けを行った。

インストラクター全員がシャープナー携行しその場で鎌砥ぎの対処をする、下刈りは順調に進み、終了班は未作業地へ移動し下刈りを続け予定時間前に終了、作業した場所の出来具合を確かめて、持ち物点検して集合場所へもどる。



此処は成長の森事業で平成25年無花粉杉を植栽し5年経ち樹高3m以上に立派な杉に成長していた、下刈りも今回は最後であろうとの財団から話もあり丁寧な下刈りを行った。

11時30分から各班で昼食中グループミーティング、活発な意見交換が出来ました。

参加された皆さんの協力で怪我・熱中症等無く無事終わったことに感謝です。道具の手入れを行い倉庫へ納めて活動終了、13時30分散散した。

(記 立花 康美⑭)

◆ 横浜市立都田小学校 体験学習 登山・自然観察

日 6月13日(火)9:30~11:50、雨

場 県立愛川ふれあいの村

参 小学4年生83名、教師等9名 計92名

イ L 西出⑫、安部⑤、小野⑦、渡部⑦、有坂⑧、小沢⑨、松石⑬、木村⑭、小松⑮

あいにくの雨で、高取山登山は中止となり、体育館で班ごとに分かれて森林講話を行いました。最初に「登山に行きたかった人は？」と聞くと、躊躇なく、全員の手が上がりました。東京スカイツリーが写った山頂からの写真を見せ

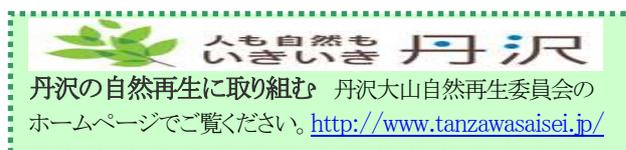
ると、全員「行きたかった！」と残念そうだったので、「今度は天気の良い日に家族で来て下さい」と慰めました。

森林講話では、「皆さんはこの川の水をつかっていますか？」など一人ずつ質問をしながら、「水の大切さ」「森林と水の関係」「森林の働き」「森林の現状と対応」などの話をすると、子供たちは熱心にノートに書き留めていました。あつという間に45分が過ぎて、子供たちは少し物足りない様子でした。

先生から、「まだ少し時間があります」と言う事で、小雨程度でしたので、30分程で村内の自然観察を行う事にしました。生きた化石と呼ばれるメタセコイアで話をすると「私、セコイアなら知っている」という子がいたり、ヘリの翼のように飛ぶイロハモミジの種子を拾って皆で飛ばしたり、サンショウの葉に触って香ばしい匂いをかいだりして、楽しく自然観察を行いました。

いつもの教室の授業と違って、自然の中での話や体験が子供たちを生き生きとさせているように感じました。

(記 西出 健一⑫)



◆ 横浜市立 六ツ川西小学校 森林学習

日 6月13日(火)、雨時々曇り

場 横浜自然観察の森

参 小学4年生77名 教師等7名 計84名

イ L長尾⑬、堀江④、杉戸⑥、海野⑩、大原⑬、藪田⑬

昨夜からの雨が6時過ぎには上がり、曇の中で活動できると思われた。

インストラクター6名は、9時に自然観察センター前に集合してコースの再確認をしながら生徒達の到着を待つ。

モンキチョウの広場に9時30分には全員が集合し挨拶・インストラクターの紹介・写真撮影の後1班から出発する。我々6班が出発して5分位経過した所で再度雨が降り始めたので、全員レインウェアを着用して先に進む。

あいにくの雨で子供たちは紙の資料は見ることができなかったが、草花や樹木の話に興味深そうに聞き、赤や紫色の実をつけたヤマグワ・真っ赤な実をつけたオニシバリに興味を持ち熱心な質問が多数あった。

途中のノギクの広場から先は長い階段を下ったが、生徒

達はゆっくり気をつけて全員怪我なく降ることができた。

予定通り11時30分には、森の家のホールに到着し、生徒・インストラクターの挨拶の後解散となった。

今日は活動時間の大半が雨で、衣服も濡れてしまったが生徒達のはつらつとして元気な表情が印象的でした。

(記 藪田 栄哉^⑬)



◆ 平成29年度 緑のレンジャー、シニア(第3回)

日 6月17日(土)9:15~12:00、晴れ

場 鎌倉中央公園

参 12名(男9名、女3名)

財 公益財団法人 鎌倉市公園協会

スタッフ 鎌倉市公園協会 千田様、後藤様

イ L安部^⑤、小沢^⑨

緑のレンジャー、シニア第3回講座、道具の使い方を学ぶに12名の方が参加されました。

10時より管理事務所広場にて担当の後藤様の進行により、オリエンテーリング開始。

作業にふさわしい服装等のチェックをして、インストラクターの紹介、ストレッチを行いこの講座では初めて道具を使用する。

ヘルメット、ノコギリ、剪定バサミには各自の登録ナンバーが記されていて、この3点の道具は最終回まで愛着を持って各々が管理される。

事前確認で打合せした作業現場まで園内を歩き10分位で到着。まずはあまり家庭では使用されない大ガマ、足の構え、腕の動かし方等、交代でそれぞれが感想を述べながら実施、もう一つ高枝ノコギリは園内にある枯れ枝等を探し、かつ高さもある木を物色、高枝ノコギリその物も重量が有り、長さも3メートル位伸ばして使用する為、枝に対するノコギリの当て方、切った枝が落ちる時どう対応するか等説明しながら、各自が道具にさわ実感して頂いた。

今回の実習は道具の使い方及び道具の持っている特徴等を学んで頂くのを主とした為、作業その物は限られてしまいました。次なる講座で参加された皆さんも道具を使いこなして頂くのを楽しみに作業終了。

管理事務所に戻り道具の手入れを学んで頂いた。刃物を実際に手で触る為、安全を重視しかつ道具を次回に使用する為の準備をかね道具の大切さも実感した手入れで

あった。参加された皆様の感想やヒヤリハット等を確認し、明るく、楽しく、安全をモットーに次回にお会いするのを約し散会した。

(記、小沢 章男^⑨)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

かながわの水循環環境の
保全・再生をめざして

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420104/>

(アドレスが前から変更になっています)

◆ 県民参加の森林づくり「竹林整備」

日 6月17日(土)8:30~13:30、晴れ

場 小田原市小竹(住宅供給公社有林)

参 73名(男60名 女13名)

県 神奈川県住宅供給公社 猪俣理事長ほか9名

財 西ヶ谷専務、豊丸課長、鳥海様、佐々木様 看 青木様

イ L中元^⑩、菊池^①、佐藤^⑤、大道^⑥、白畑^⑦、鈴木^⑧

内野^⑨、水津^⑨、波多野^⑨、徳岡^⑪、山下^⑪、中村^⑪、

一重^⑪、宮下^⑫、水上^⑬、藪田^⑬ 研 手島^⑭

朝から好天に恵まれ絶好の作業日和となりました。

インストラクターは二宮駅前に7:50前に集合して、打合せの後参加者の誘導・受付・案内などの部署に分かれてお迎えする。

8:40には3台のバスに分乗して現地へ向かい、小竹向山第一公園に集合して、挨拶、紹介、準備体操をした後装備を身に付け作業現場に移動する。

作業現場は、真竹の林で各班に割り当てられたエリアに入り作業に取り掛かった。今回は、間伐作業のため対象となる竹(周囲と近接・曲がったもの・割れているものなど)を選定し2~3人のチームで伐倒に取り掛かった。参加者の中には始めての方や経験豊富な方も参加されており助け合いながら作業を進める。伐倒後、玉切り枝打ちをして2~3mに切り揃え集積場所へ積み上げる。

竹林は見る見るうちに日が差し込むようになり、明るく見通しが良くなって皆で達成感を得られました。作業中に竹チョッパーが運ばれて運転を開始、音が少々大きかったが伐採した竹が粉々のチップになる所を見学出来ました。

今年は筍の生育が良く、たくさんの筍が取れ参加者全員に配ることができ大変喜んでおられました。

12:00少し前に作業を終了し、班毎に朝集合した公園に向かい道具の清掃、収納して班毎に車座に集まり昼食

を取りながらグループミーティングを行いました。

13:00過ぎにはバスの乗車場所から二宮駅に戻り解散となった。

(記 藺田 栄哉^⑬)

◆ 伯東株式会社 森林ボランティア(下草刈り)

日 6月17日(土)10:00~12:30、快晴

場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド

参 14名(男8名、女6名)

イ L村井^⑨、山崎^⑦

水源林保全活動の社会貢献として、社員有志による参加で、初参加者が7名でした。インストラクターリーダーの村井氏から作業内容と注意事項の説明があり、その後、準備体操をして作業現場へ移動。快晴で炎天下での作業となり、熱中症にならないように、水分を十分にとって休憩しながら実施した。現場は「ケヤキ」を植栽した場所ですが、数本しか残っておらず、ほぼ全滅状態でした。腰あたりまで伸びた「茅(カヤ)」は芯が固く、刈るのに苦戦しました。

眼下に広がる足柄平野、大山、表丹沢を眺めながら谷間から吹き上げてくるみどりのそよ風がここちよかった。「伯東の森」看板の前で記念写真を撮り解散しました。

(記 山崎 寛^⑦)

◆ 横浜市立小山台小学校 自然観察

日 6月19日(月)8:50~11:45、曇りのち晴れ

場 愛甲郡愛川ふれあいの村

参 小学4年生・5年生78名 教師等 大人7名

イ L内野^⑨、高橋^③、村井^⑨、松本^⑪、松永^⑪、西出^⑫、真部^⑬、國弘^⑭

9~10人のグループにインストラクターがつき、愛川ふれあいの村の樹木や草花、昆虫等を観察しました。子どもたちはコクワガタやシャクトリムシなどを見つけて目を輝かせ、クサグモの巣では夜間に降った雨で光るしずくを「きれい」と言って皆で見っていました。また、カツラ等の葉の臭いをかぎ、コウブリナの茎のザラツキをさわり、ヒマラヤスギの種やオニグルミの実を集めていました。

グループは4年生と5年生が半数ずつの構成でした。4年生では「森林のはたらき」を、5年生は「林業」を学ぶということで、「水源涵養保安林」、「土砂流出防備保安林」等の説明についても、とても良く理解してくれました。子ども達から「緑のダム」の言葉も出ました。建材としてのヒノキに興

味を持つ子どももいました。

観察終了後には、「木や草には沢山の種類があることを知って驚いた。」、「生き物を沢山見られてうれしかった。」等の感想を聞くことができました。先生からも「生徒の表情が生き生きとしていて、とても良かった。」とのお話をいただきました。子どもたちに自然は面白いと思ってもらえたら幸だと強く感じた一日でした。

(記 國弘 明子^⑭)

◆ 横浜市立並木第四小学校 上郷体験学習

日 6月26日(月)12:30~21:00、曇り

場 横浜自然観察の森

参 小学4年生 66名 教師等8名

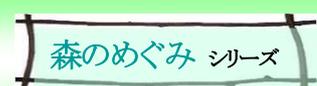
イ L杉戸^⑥、渡辺^③、伊藤^⑦、藺田^⑬、長尾^⑬、大原^⑬

毎年恒例の‘午後の自然観察’と‘夜のホタル観賞’です。天気予報で雨を覚悟していましたが、雨天とならず、関係者から‘ついている’と思わず言葉が出ました。まず‘炭焼き小屋’を見学し、その後、生徒達とインストラクターが班ごとに分かれ‘お昼’です。

生徒達とコミュニケーションをとってから、自然観察に出かけました。樹木、植物、野鳥、地層等々、自然観察をしながら散策し、森林の大切さも伝えることができました。インストラクター各自のカラーを發揮できたのではないかと思います。そして、生徒達のうれしい出逢いは、‘台湾リス’と‘ガビチョウ’をしっかりと観察できたことです。危険植物の‘ヌルデ’も見分けがつくようになりました。‘キャンプファイヤー’に参加した後、夜の部では、たくさんの‘ゲンジボタル’が鑑賞できました。ここでも‘ついている’と感想が出たところでした。予定通り活動を終わりました。

(記 大原 正志^⑬)

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林
ミニガイド



7月のトピックス
夏の滝は格別です。冷気とマイナスイオンを浴びて!! (滝郷の滝 7/29 松本)

8月の水源林 おいでください!

やどりき水源林に来て、綺麗な川での川遊びや滝郷の滝で猛暑を吹き飛ばしましょう。都会からの近距離ですが、別世界が広がります!

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故保険は無料です。

- 実施時間:毎週土曜・日曜 AM10時-PM1時、1~2時間程度
- 集合:水源林入口ゲート前
- 内容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ:(公財)かながわトラスとみどり財団 TEL:045-412-2255 FAX:045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadoriki127.html>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

「やどりき水源林のつどい」

が開催されます。

募集は締め切りました。

開催日:平成27年8月5日(土)

場所:やどりき水源林(足柄上郡松田町寄)



開催状況は9月号で掲載予定です。ご期待ください。

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP担当:井出恒夫)

編集後記

- ★ロードバイクが楽しくて、楽しくて、毎日の通勤で一生懸命、練習しています。(赤崎)
- ★猛暑の中、近隣の農園でブルーベリー狩りをしました。優しい農家のご主人が「好きなだけ食べて摘みとってください!」...至福の一日でした。(小川)

★除草剤を撒かない田んぼにはコナギやオモダカといった特有の草が生えます。先日は田の草取りをして、取ったコナギを漬物でいただきました。シャキシャキして美味でした。(黒川)

★梅雨の雨も降らなかったのに、この暑い夏! 静かに涼しい秋を待つしかないかな。(吉田)

★軽井沢に行ってきましたが、軽井沢でも暑くて、生まれた時からずっと住んでいる従妹が熱中症にかかりました。やはり異常気象ですね。でも50年ぶりに行った旧軽の白糸の滝は涼しかった。



(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。郵便振替口座 00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島 正治
広報部: 赤崎さほり 小川和恵
 藪田栄哉 大塚晴子
 黒川敏史 吉田郁夫
支援 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子



“第40回
まつだ観光まつり”
8/26(土)

松田町観光協会 TEL:0465-85-3130
<http://www1a.biglobe.ne.jp/matsuda-kanko>
新HP <http://lets-go-matsuda.com/>



“第18回
あしがら花火大会”

8/26(土)20~20:40 打上
松田町会場:酒匂川町民親水広場
開成町会場:水辺スポーツ公園

散策、ボランティア活動の
お帰りに!!
~ お食事処 ~
(もちろん冷たいお飲み物も)

こまち
山麓のオアシス
新松田駅踏み切り際
緑の募金箱協力店